



@Tokyo

Azureのつなぎ方 アット東京編

2022年3月

はじめに

アット東京のデータセンターには、Azure ExpressRouteの接続点であるロケーションが開設されています。

アット東京では、Azure ExpressRouteへ接続するためのサービスとして、以下の2つのサービスを提供しています。

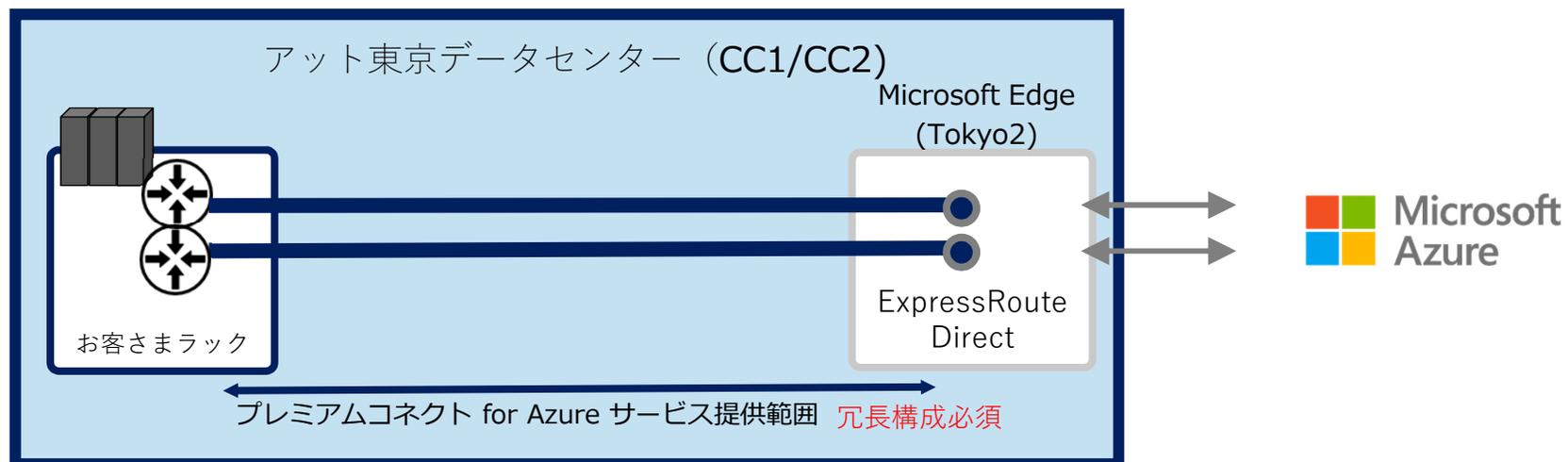
- プレミアムコネクト for Azure
- ATBeX ServiceLink for Azure

本サービスを利用することにより、弊社データセンターをご利用されているお客さまは、Azure ExpressRouteを介して接続できるAzureクラウドサービスの各種サービスに高品質かつ低コストで利用することが可能となります。

アット東京のAzure接続サービス

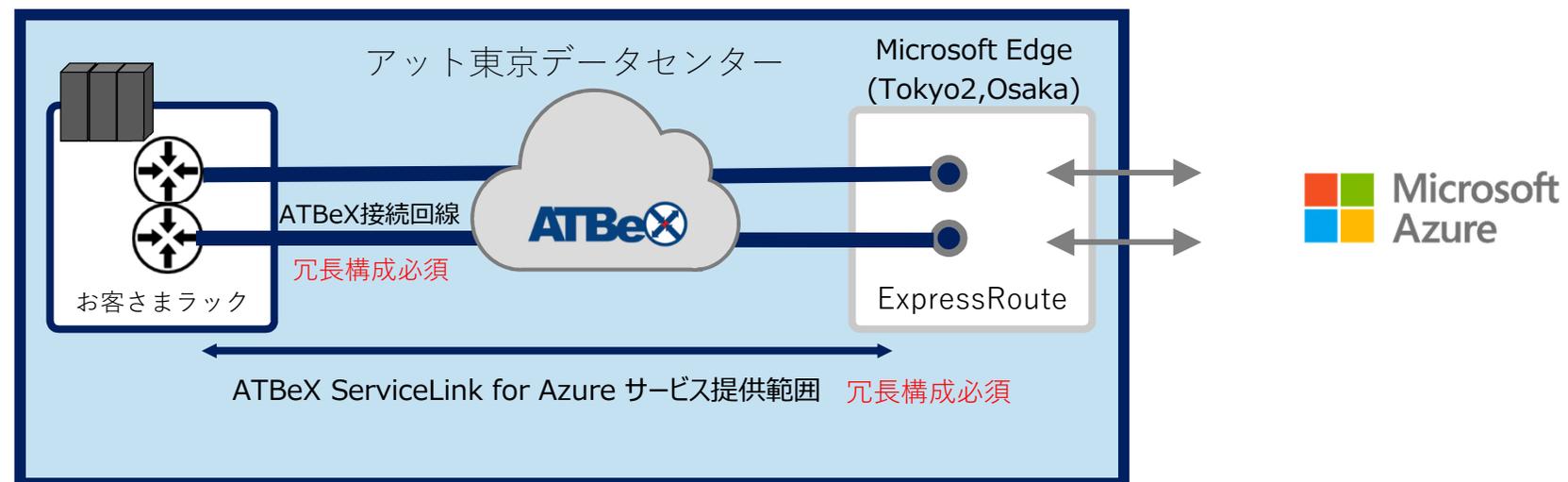
プレミアムコネクト for Azure

構内での光ファイバー配線によるプライベート接続



ATBeX ServiceLink for Azure

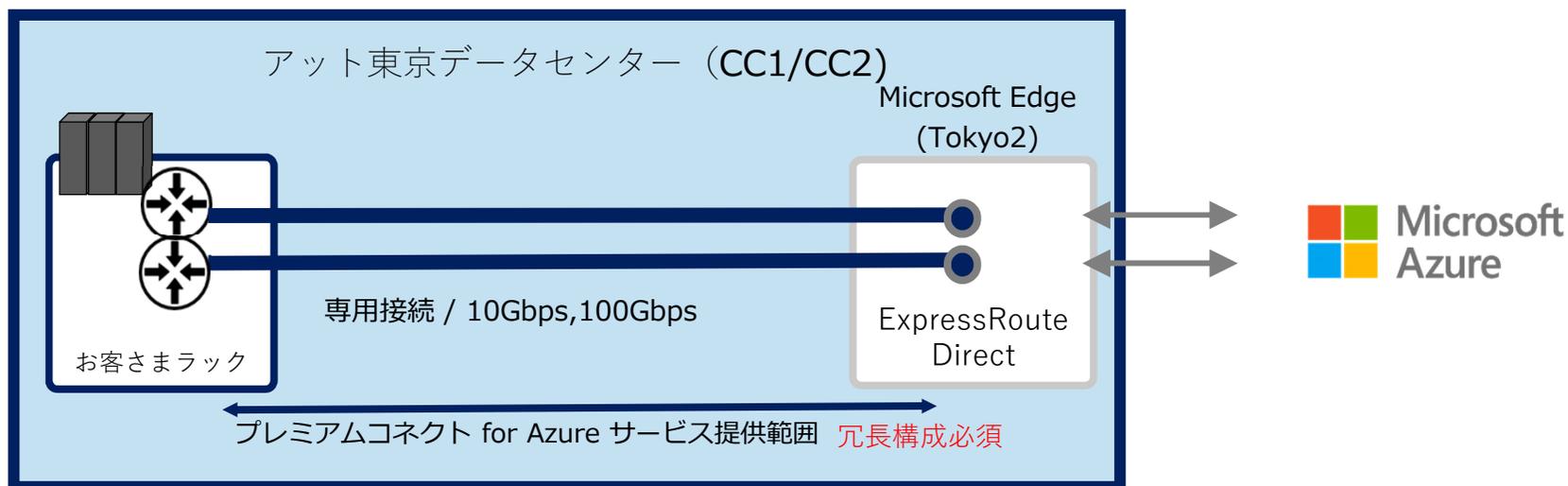
1本の接続回線で複数の論理回線の利用が可能。利便性、柔軟性に優れた相互接続



接続サービスの紹介① プレミアムコネクト

サービス概要

プレミアムコネクト for Azureは、アット東京中央センター(CC1)内に設置された ExpressRoute Direct ロケーションへ直接接続するための光ファイバー配線を提供いたします。ExpressRoute Direct 専用接続 10Gbps または 100Gbps へ接続可能です。



接続仕様

レイヤ	仕様
レイヤ1	シングルモード光ファイバー2芯 × 2 SC/LCコネクタ (※)

※ コネクタ形状についてはお客さま機器に合わせてご指定頂けます。

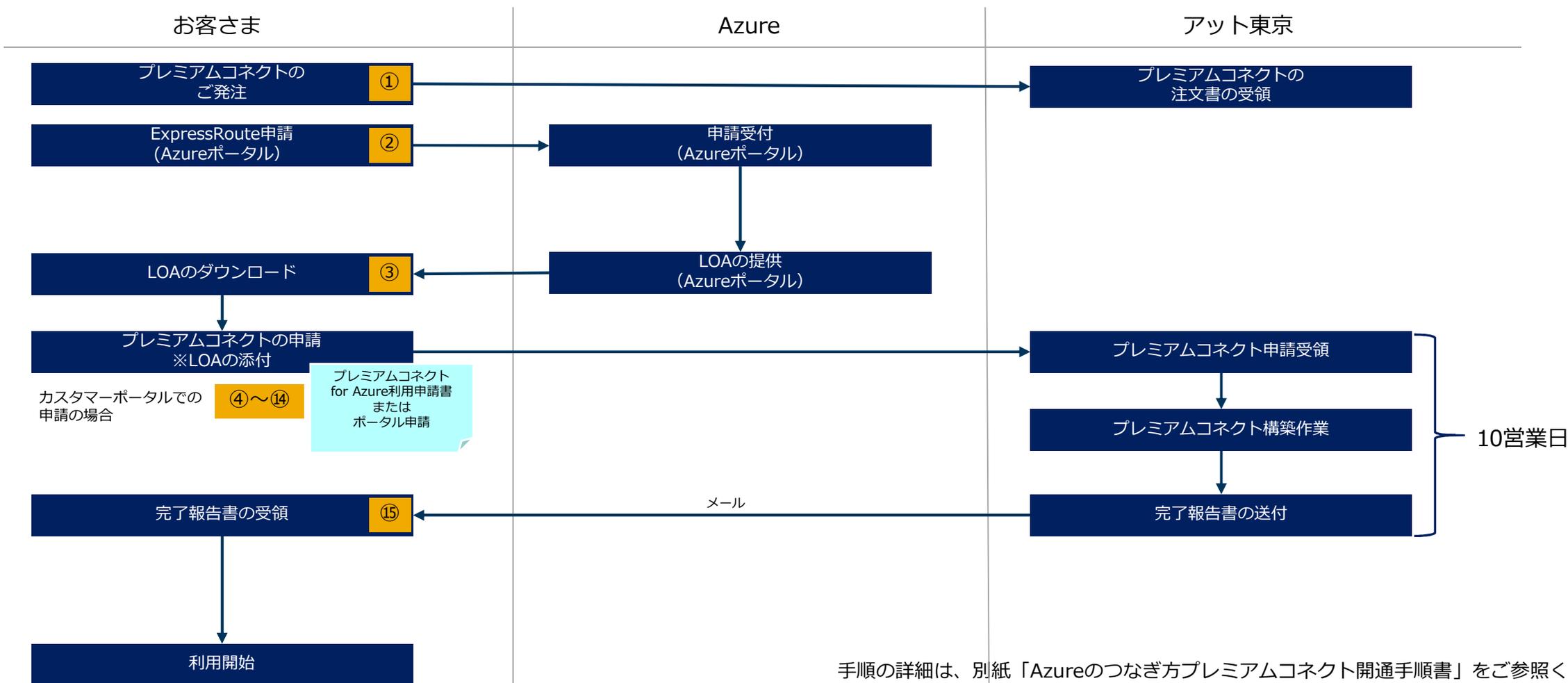
接続サービスの紹介① プレミアムコネクト

サービス提供条件

- 本サービスは、当社中央センター(CC1)、中央第2センター(CC2)で利用可能です。
- 本サービスは、Microsoft社が定めるところにより冗長構成が必須となるため、Express Route Directとの接続は2回線1セットで提供いたします。
- 本サービスのご利用にあたり、別途、Microsoft社のExpressRoute Direct専用接続の契約が必要となります。詳細な手順についてはAzureのドキュメントをご確認ください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/expressroute/expressroute-erdirect-about>
- 本サービスにはAzure側の「Azure ExpressRouteポート料金、データ転送料」は含まれておりません。こちらはお客さまに直接Azure管理コンソールでご契約いただき、Azure側のアカウントに請求されます。
- プレミアムコネクトの最低利用期間は1年です。

接続サービスの紹介① プレミアムコネクト

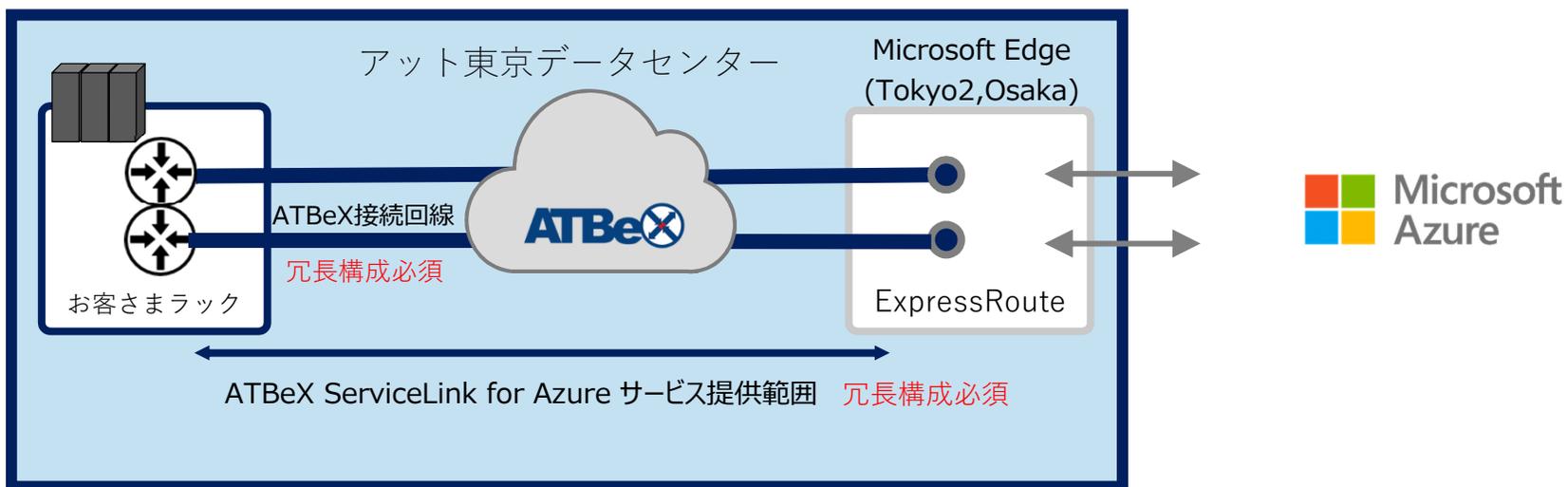
サービス利用開始までの流れ



接続サービスの紹介② ATBeX ServiceLink

サービス概要

ATBeX ServiceLink for Azureは、Azure ExpressRouteに接続するサービスです。
アット東京がサービスプロバイダーとして、Azure ExpressRouteへのレイヤ2リンクを提供いたします。
50Mbps～10Gbpsの帯域が選択可能です。
東京、大阪の2つのロケーションを選択して接続できます。

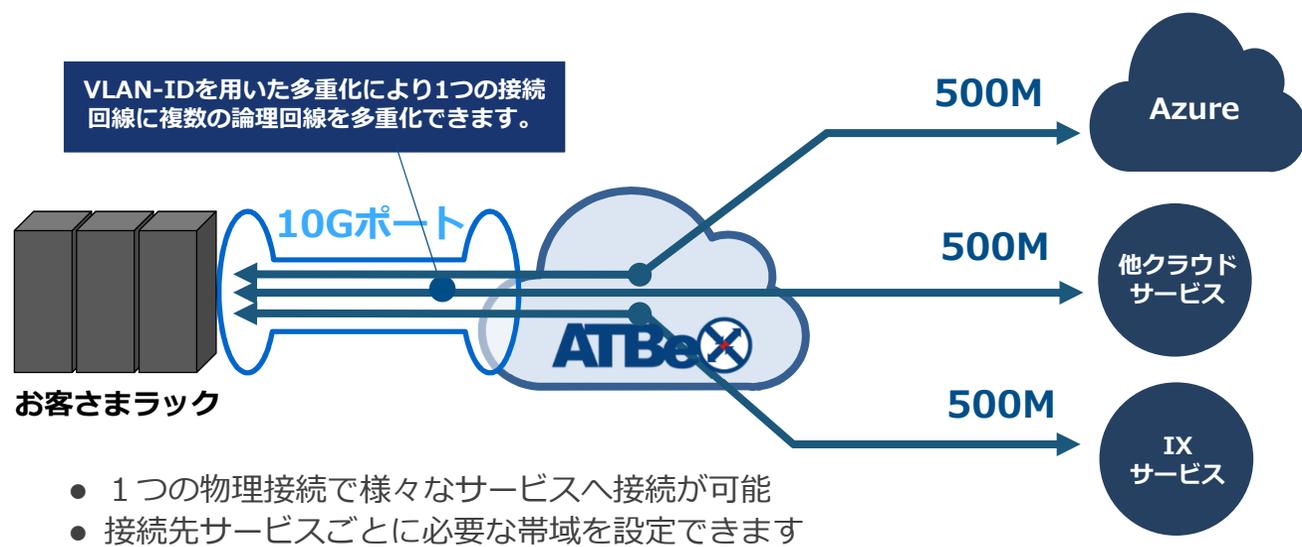


接続サービスの紹介② ATBeX ServiceLink

ATBeXとは？

ATBeX(AT Tokyo Business Exchange)はアット東京と提携データセンター、クラウド、IXなどの各サービスプロバイダー間を相互接続するためのアット東京が運営するネットワークプラットフォームサービスです。

ATBeXをご利用頂く場合、①ATBeX接続回線、②ATBeX論理回線(ServiceLink)のご契約が必要となります。また、東京ゾーン、大阪ゾーンを跨いで論理回線を利用する場合、③ATBeX中継回線のご契約が必要となります。



①ATBeX接続回線

お客さまラックと当社ATBeX機器を接続する**物理回線** (ATBeX側ポート+光ファイバーケーブル)
→1Gポート、10Gポートから選択

②ATBeX論理回線

お客さまネットワークと各サービスネットワークをATBeXネットワークを介して接続する**論理回線(VLAN)**
→帯域メニューより選択

接続サービスの紹介② ATBeX ServiceLink

メニュー

ATBeX接続回線メニュー

基本サービス品目	1Gポート	10Gポート
インターフェース種別	1000BASE-LX	10GBASE-LR
通信速度	1Gbps	10Gbps
通信モード	Auto Negotiation	-
お客様機器接続ケーブル線種	シングルモード光ファイバ 2芯	
お客様機器接続ケーブルコネクタ形状	SC / LCコネクタ ※お客様機器に合わせてご指定いただけます。	
VLAN方式	VLANタグ(IEEE802.1q準拠) / タグ無し	
VLAN設定上限数	VLANタグ : 4,094 タグ無し : 1	

- ・ 1本の接続回線内で複数の論理回線をご利用頂けます。
- ・ 接続回線帯域以上の論理回線帯域の収容はできません。(論理回線帯域合計値 ≤ 接続回線帯域)

ATBeX論理回線メニュー(ATBeX ServiceLink for Azure)

インターフェース設定帯域	50 Mbps	100 Mbps	200 Mbps	500 Mbps	1Gbps	2Gbps	5Gbps	10Gbps
--------------	---------	----------	----------	----------	-------	-------	-------	--------

接続サービスの紹介② ATBeX ServiceLink

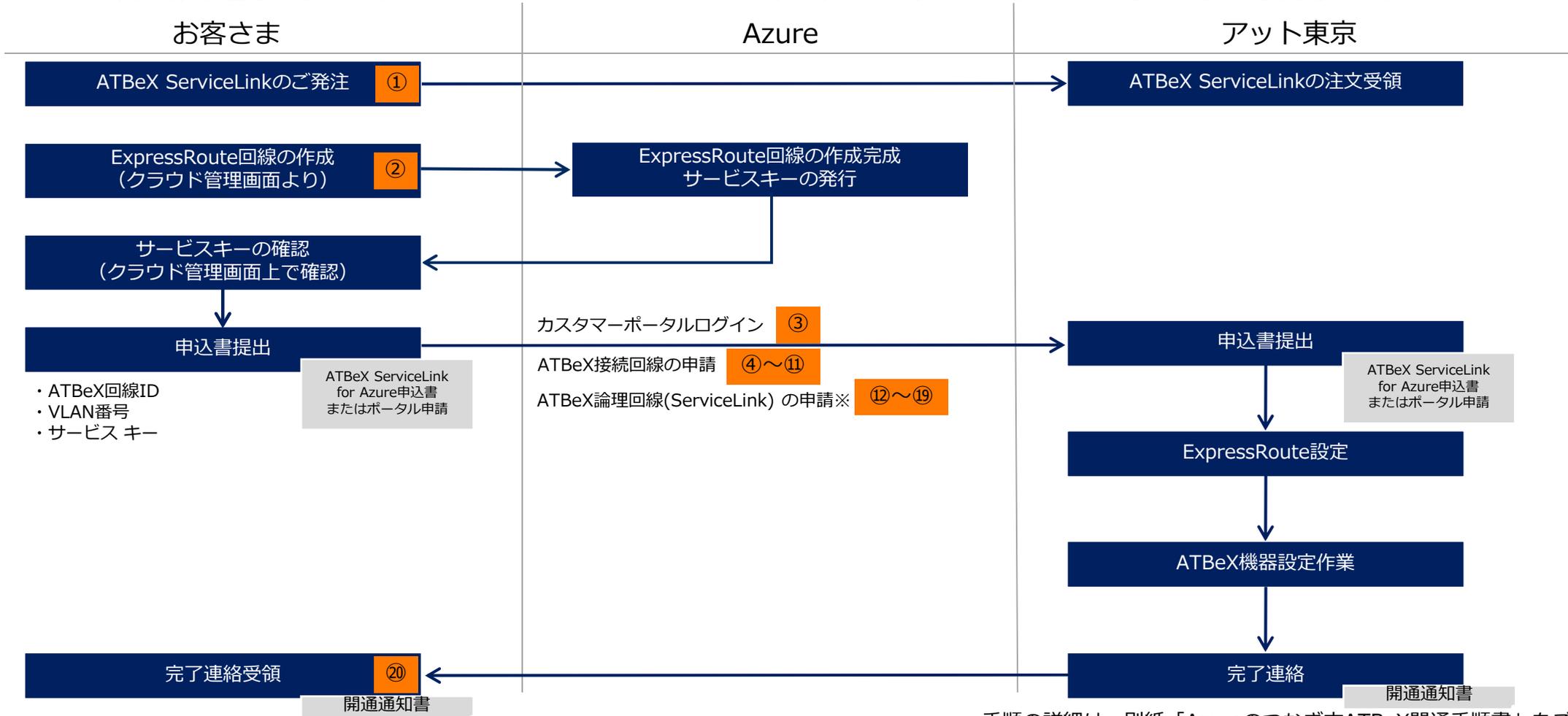
サービス提供条件

- 本サービスは、ATBeX接続回線のご契約及び空きの帯域があることが前提となります。
- 本サービスは、Microsoft社が定めるところにより冗長構成が必須となります。そのため、ATBeX接続回線は2回線分の申請が必要です。ATBeX ServiceLink for Azureは1申請で2回線1セットで提供いたします。
- Azure ExpressRouteへ接続するための接続用のBGP対応ルータが必要となります。BGPルータはお客さまで準備し、お客さまラック内に設置いただくか、アット東京の「[マネージドルータサービス（有償）](#)」をご利用頂くことも可能です。
- 本サービスのご利用にあたり、別途、Microsoft社のAzure ExpressRouteの契約が必要となります。詳細な手順についてはAzureのドキュメントをご確認ください。
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/expressroute/expressroute-howto-circuit-portal-resource-manager>
- 本サービスにはAzure側の「Azure ExpressRoute ポート料金、データ転送料」は含まれておりません。こちらはお客さまにて直接Azure管理コンソールよりご契約いただき、Azure側のアカウントに請求されます。
- ATBeX ServiceLinkでは、お客さまからの申請により接続設定を行います。ATBeX ServiceLink申込書受領後2営業日(ATBeX接続回線を合わせて手配の場合は10営業日)での設定が可能です。ATBeX ServiceLinkの最低利用期間は1ヶ月(ATBeX接続回線は1年間)です。

接続サービスの紹介② ATBeX ServiceLink

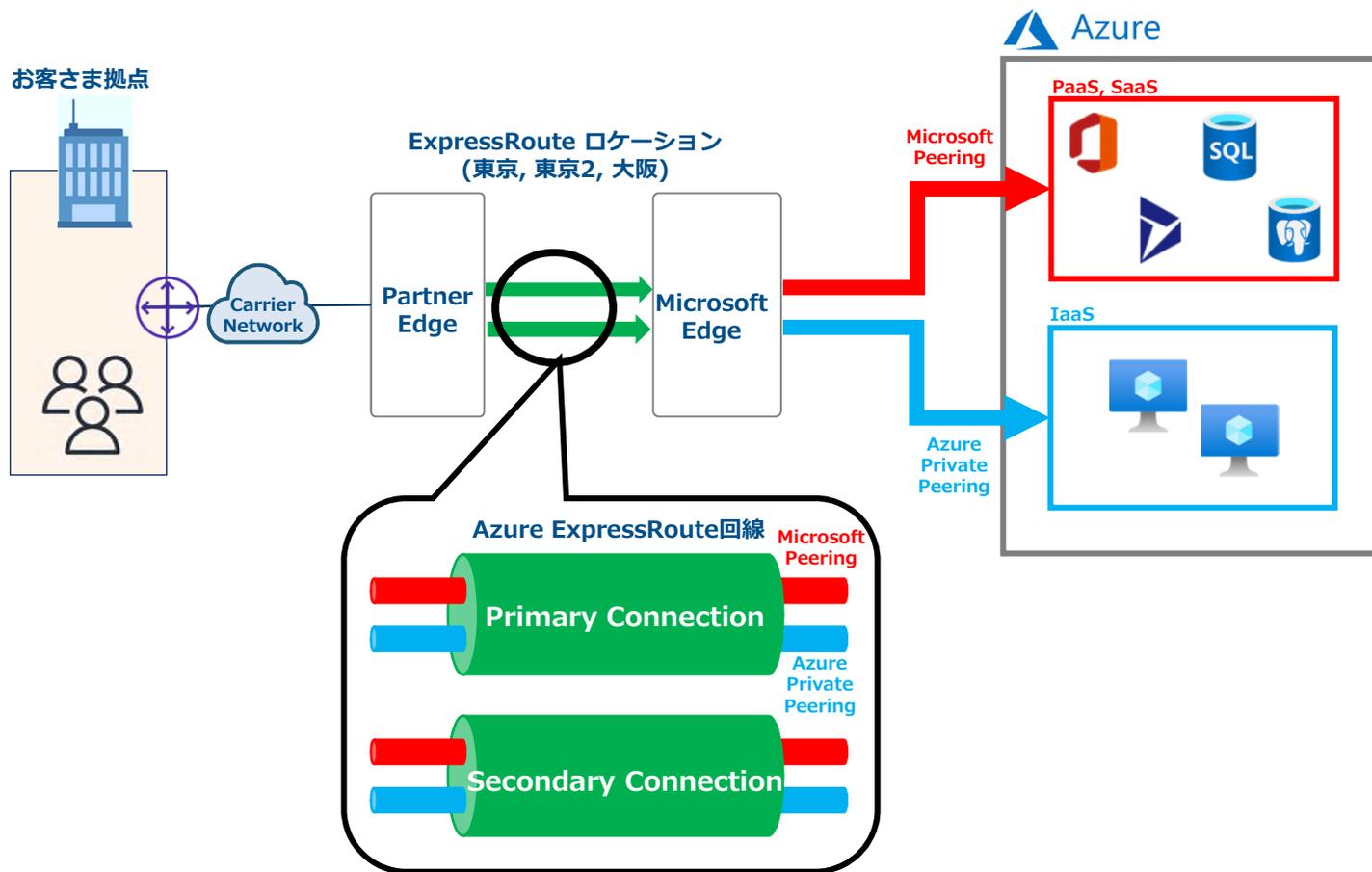
サービス利用開始までの流れ

※ お客さまにてATBeX接続回線のご契約及び空きの帯域があることが前提となります。



手順の詳細は、別紙「Azureのつなぎ方ATBeX開通手順書」をご参照ください。

Azure ExpressRoute回線でのピアリング



Azure ExpressRouteで 사용되는 2つのピアリング

- Azureプライベートピアリング(Azure Private Peering) (IaaS)
- Microsoftピアリング(Microsoft Peering) (PaaS、SaaS)

回線SKUという帯域幅単位で契約 (図の緑色の線の部分、土管のようなイメージ)

回線SKUの選択により、様々な帯域幅^{※1}での利用が可能

※1)50Mbps、100Mbps、200Mbps、500Mbps、1Gbps、2Gbps、5Gbps、10Gbps

1つの回線SKUの中に、AzureプライベートピアリングとMicrosoftピアリングを各1つずつ作成可能^{※2}

※2)どちらか片方だけの利用も可能

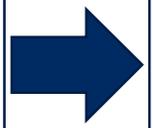
1つの契約でPrimary Connection、Secondary Connectionの2つの冗長化された回線がセットで提供される

【重要】 Azure ExpressRoute利用時の申し込みの注意点

(例)
お客さまのAzure ExpressRouteの利用で、

- ExpressRoute回線 1回線申し込み
- Microsoft Peering VLAN ID 152
- Azure Private Peering VLAN ID 150

同一回線の中で2つのPeeringを利用する場合

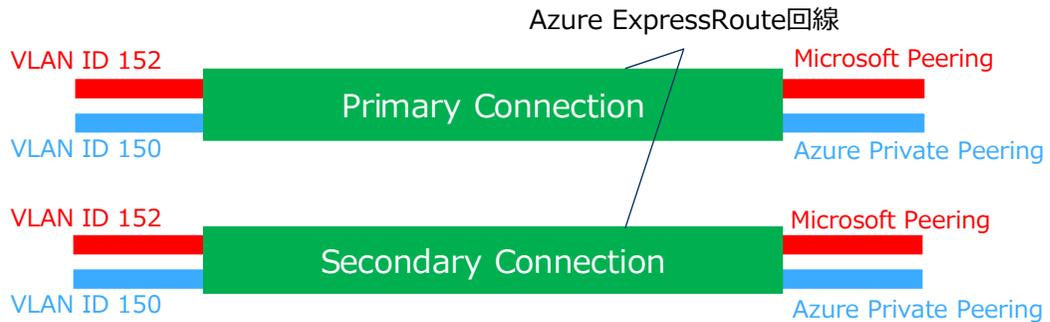


ATBeXでの利用申し込みは、

- ATBeX接続回線 **2回線申し込み**
- ATBeX ServiceLink for Azure **1申請で2論理回線提供**が必要となります。

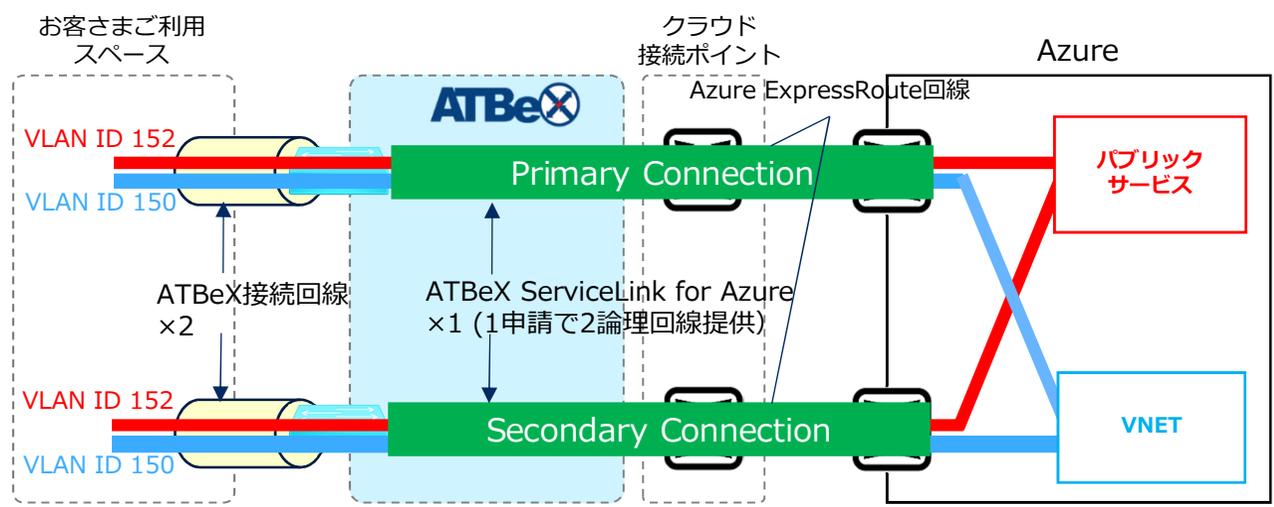
ATBeX ServiceLink for Azureは1申請で2つの論理回線が提供されます。(論理回線料金は2回線分の料金となります)

Azure ExpressRoute回線の提供イメージ



- ✓ ExpressRoute回線1回線申込で2つのConnection (Primary Connection, Secondary Connection)が提供されます。
- ✓ それぞれのConnectionの中にMicrosoft PeeringとAzure Private Peeringの2つのPeeringが提供され、それぞれ2つのConnectionの中で**同じVLAN ID**で提供されます。VLAN IDはお客さま指定の番号にAzure PortalよりPeering申し込み時に設定可能です。

ATBeX経由での提供イメージ



- ✓ ExpressRoute回線の2つのConnectionを同じ接続回線で受け取ることはできません。必ず異なる2本の接続回線に分けて収容する必要があります。
- ✓ ATBeX接続回線でお客さまが受け取るVLAN IDはお客さまがAzure Portal内で申請されたVLAN IDと同じ番号で申請頂く必要があります。



<https://www.attokyo.co.jp/>